

[要点]

- (1) 19世紀に天保のききんがおこり、大阪では大塩平八郎の乱がおこった。
- (2) このようななかで、老中の水野忠邦は天保の改革を行い、株仲間の解散などを行ったが、改革は失敗に終わった。
- (3) 諸藩でも特産物を専売品にするなど財政の建て直しをおこなった。薩摩藩と長州藩はこれに成功して、幕末の政治に大きな影響を与えることができた。

[A問題：要点確認]

- (1) 19世紀に()のききんがおこり、()では大塩平八郎の乱がおこった。
- (2) ()世紀に天保のききんがおこり、大阪では()の乱がおこった。
- (3) このようななかで、老中の水野忠邦は()の改革を行い、株仲間の解散などを行ったが、改革は失敗に終わった。
- (4) このようななかで老中の()は天保の改革を行い、()の解散などを行ったが、改革は失敗に終わった。
- (5) 諸藩でも特産物を専売品にするなど財政の建て直しをおこなった。()藩と長州藩はこれに成功して、幕末の政治に大きな影響を与えることができた。

[B問題]

- (1) 19世紀前半におこった大ききんは何か。
- (2) 1837年、もと奉行の役人で儒学者であった(A)は(B)という都市で乱をおこした。
- (3) 19世紀前半に行われた幕府政治の改革は何か。また、その改革を行ったのは誰か。
- (4) 水野忠邦が物価の引き下げをはかるために行った政策は何か。
- (5) 諸藩でも財政難への対策がたてられたが、その例をあげよ。
- (6) 次は、誰が行った改革か。 A 林羅山がたてた孔子をまつる聖堂と私塾を盛んにし、学問を進めた。 B 金貨の質を悪くして財政難をきりぬけようとした。
- (7) 次は、誰が行った改革か。 C 長崎貿易を制限し金銀の海外流失を防いだ。 D 江戸に目安箱という投書箱をもうけた。
- (8) 次は、誰の何という改革か。 E 公事方御定書という法令集を作り裁判の公正をはかった。 F 昌平坂学問所で朱子学以外の学問を禁止した。
- (9) 次は、誰の何という改革か。 G 農民の都市への出稼ぎを禁止した。 H わいろがさかんになった。(人物のみ)

(10)次は、誰の何という改革か。 I 商工業者の株仲間を奨励した(人物のみ)。 J 旗本・御家人の借金を帳消しにした。

(11)次は、誰の何という改革か。 K 新田開発を行い、きめられた率の年貢をとるようにした。 L 有能な武士は俸禄の低い者でも取り立てた。 M 株仲間を解散させた。

【解答】 (1)天保のききん (2)A 大塩平八郎 B 大阪 (3)天保の改革 水野忠邦

(4)株仲間の解散 (5)特産物を専売品にした。 (6)A 徳川綱吉 B 徳川綱吉 (7)C 新井白石 D 徳川吉宗 (8)E 徳川吉宗, 享保の改革 F 松平定信, 寛政の改革 (9)G 松平定信, 寛政の改革 H 田沼意次 (10)I 田沼意次 J 松平定信, 寛政の改革 (11)K 徳川吉宗, 享保の改革 L 徳川吉宗, 享保の改革 M 水野忠邦, 天保の改革

【C問題】

(1)大塩平八郎が乱を起こしたのは何年か。

(2)大塩平八郎は儒学の中でも知行一致を重視する学問の学者であった。何という学問か。

(3)天保の改革の中で、水野忠邦は、都市にでかせぎに来ている農民を農村に帰させる法令を出したが、何という法令か。

(4)財政の建て直しに成功し、幕末の政治に大きな影響を与えた藩を2つあげよ。

(5)薩摩藩と長州藩の専売品をそれぞれあげよ。

【解答】 (1)1837年 (2)陽明学 (3)人返し令 (4)薩摩藩, 長州藩 (5)薩摩藩：砂糖 長州藩：紙・ろう